

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和4年 6月 30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 鳥栖市村田町1250-1
特別養護老人ホーム真心の園内
団 体 名 特定非営利活動法人小児がん・まごころ機構
代表者職・氏名 理事長 中川原 章
電話番号 0942-50-5542

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人小児がん・まごころ機構

1 事業実施期間 令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

小児がんに関する啓発活動と、佐賀県ふるさと納税の仕組みを本格化させたことで、佐賀県民をはじめとした多くの人に「日本を含むアジアの小児がんの現状」を周知することができた。その結果、日本国内の小児がん長期フォローアップ体制の確立のための支援活動と、小児がんの医療体制等の格差をなくすための支援活動への支持を得ることができた。その具体的な成果としては、中央機関である国立成育医療研究センターの目指す、小児がん長期フォローアップ体制確立に向けたシステム構築支援と、日本を含むアジアの小児がん関連団体であるアジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG) 設立後、事務局として体制整備支援と会議開催支援を行った。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 中学生に対する小児がんに関する啓発事業	国内外の小児がんの現状について、特に途上国の小児がん治療の問題点に着目し、授業を行った。	(A) 9月16日 (B) 武雄市の中学校とオフィスとのオンライン (C) 5名	(D) 武雄市の中学生 (E) 約50名	0
② 小児がんに関する啓発事業	初のGold September Campaign イベントとして「WHO Global Initiative for Childhood Cancer (WHO GICC) in Tokyo 2021」開催	(A) 令和4年9月25日 (B) 国立がん研究センター (C) 20名	(D) 国内外の小児がん医療関係者および患者とその家族、一般市民 (E) 約300名	2,260
	国際小児がんデーイベントとして「国際小児がんデー (ICCD) in 佐賀 2022」開催	(A) 令和4年2月15日 (B) 動画配信 (C) 20名	(D) 国内外の小児がん医療関係者および患者とその家族、一般	

			市民 (E)約 300 名	
③ アジアの小児がんの関連団体の支援事業	アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG) のホームページ立ち上げと広報、定期的国際ミーティング支援	(A) 常時 (B) 東京・佐賀事務所内 (C) 4名	(D) 国内外の小児がん医療関係者 (E) 多数	29
	初のAPHOGと国際小児がん学会アジア支部(SIOP-Asia)との共同オンラインミーティング開催支援	(A) 9月27日 (B) オンライン上 (C) 約5名	(D) アジアの小児がん関連団体等 (E) 関連団体団体所属の約100名	0

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の 支出金額 (単位：千円)
① 小児がんに関する啓発事業	イベントやシンポジウムを通して、国内外の小児がん患者やその家族、一般市民に向け、「日本を含むアジアの小児がんの現状」を周知する活動を継続し、支持、支援を求める。	(A) 令和4年9月、 令和5年2月 その他 (B) 東京、佐賀	2,000
② アジアの小児がんの関連団体の支援事業	アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG) の定期的な国際ミーティング開催支援と活動推進支援	(A) 随時 (B) オンライン等	1,000

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	5,158,295	第1回交付： 832,895
			第2回交付： 4,325,400
	前年度繰越金	921,454	
	収入 計	6,079,749	
支 出	○小児がんに関する啓発事業		
	行事費	1,971,759	
	業務委託費 (事業費)	33,000	
	宣伝広告費	37,230	
	謝礼	217,504	
	○アジアの小児がんの関連団 体の支援事業		
	管理・運営費	29,040	
	ふるさと納税業務委託費	1,503,835	返礼品に係る調達・送付等
	管理・運営費	128,780	
	人件費	889,644	佐賀事務所2名
	通信運搬費	11,994	
	用品費	41,800	
	印刷製本費 (感謝状)	9,830	
	支払手数料	8,609	
	公租公課	500	
次年度繰越金	1,196,224	次年度も継続して小児がんに関する 支援活動事業に充当予定	
支出 計	6,079,749		

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。